

# 英文契約書で負けない実務

～条文に潜む“罠”を見抜いて、どう修正を申し込む？  
現実的な落としどころと実践的な交渉術～ **経験者向けに**

講師 弁護士 <sup>くまき あきら</sup>熊木 明 氏 スキャデン・アープス法律事務所

日時 平成30年3月5日(月) 午後2時00分～午後5時00分

英文契約は、その独特の形式またそもそも英語であることから、契約に潜むリスク・罠を見出すのが難しいような印象があるかもしれません。実際、英文契約で使用する英語には独特のルールがありますし、又、その条項には日本の契約にはないような特殊な効果があるものもありますので、日本語の契約と同じようにレビューすると「罠」にかかってしまう可能性があります。

本講義では、特に英文契約の経験者を対象に、英文契約で使用されるルールや特殊な条項の確認を中心に行い、実際の契約モデルを使用して、どのように潜むリスク・罠を見つけ出すのか、どのように修正するのかについて、実践的に検討し、英文契約レビュー・修正のコツと実務感覚を得ることとします。

## 1 総論

- (1) 英文契約の形式
- (2) 英文契約で使用する英語のルール
- (3) 「リーガルリスク」: 「罠」があるところ、「罠」とは
- (4) 準拠法と言語

## 2 各論

- (1) Covenant 条項における罠  
強い制約を有する隠れた特別covenantの見分け方、その内容の検証
- (2) Representation and Warranty における罠  
「買主が了知している事実に関しては売主の表明保証違反が免責する」という規定、開示情報の完全性・正確性に関する表明保証といった「誠実性」に訴えかける規定の怖さ(日本人が苦手とする法的責任と「誠実性」を切り分けることの重要性)の検証
- (3) Indemnity 条項における罠  
Indemnityが日本の契約における損害賠償規定とは全く異なる概念であることを理解しているか? 理解していれば形式チェックで最低限のリーガルリスクは除去が可能。逆に理解していないと的の外の交渉をすることになる
- (4) 一般条項における罠  
Entire Agreement Clause, Third Party Beneficiary Clause等における無害そうな文言追加とその罠の検証
- (5) ドラフト上仕組まれる罠  
定義を利用して意味を変更する/義務・権利を弱める方法
- (6) 重要ターム等

～質疑応答～

提供図書: 熊木講師の最新著書「負けない英文契約書～不利な条項への対応術～」(2018年1月、清文社) ¥3,240(消費税込み)

【講師略歴】スキャデン・アープス法律事務所所属。00年東京大学経済学部卒業。07年コロンビア大学ロースクール卒業。弁護士・カリフォルニア州弁護士。M&A、会社法、金融商品取引法を専門とし、国内外の多くのM&A案件に従事した経験を有する。【近時の著書】「負けない英文契約書」(2018年1月 清文社刊・当講座提供図書)、「実務感覚がわかる! M&Aロードマップ」(Business Law Journal. 2011年1月号-12月号)。他、共著として「利益相反および忠実義務の再検証」(商事法務 1944号)、「英国における企業買収規制の運用の現状と日本の公開買付け規制に対する示唆」(国際商事法務 Vol.38, No.7 2010年)、「敵対的買収における委任状勧誘への問題と対応-アメリカでの実務・先例を参考に-」(商事法務 1827号)、「米国対内投資規制の改正と実務への影響」(商事法務 1813号)等がある。

※録音・ビデオ撮影はご遠慮下さい。

■主催 経営調査研究会  
■後援 金融財務研究会  
http://www.kinyu.co.jp

Facebook: <http://www.facebook.com/keichoken>  
Twitter: <https://twitter.com/#!/keichoken>  
Blog: <http://keichoken.blogspot.com/>



開催日

平成30年3月5日(月)  
14:00~17:00

会場

茅場町・グリーンヒルビル  
金融財務研究会本社 セミナールーム  
東京都中央区日本橋茅場町 1-10-8  
TEL 03-5651-2030  
地下鉄東西線・日比谷線 茅場町駅  
6番出口より徒歩1分  
(開場は開演の30分前です。)

参加費

1名につき37,200円  
(消費税、参考資料を含む)

1社2名以上同時に参加お申込みいただいた場合、お2人目から1名につき32,000円。追加申込みの場合はその旨ご記入下さい。

申込先

経営調査研究会 ホームページ <http://www.kinyu.co.jp/>  
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 1-10-8 グリーンヒルビル  
TEL 03-5651-2033 FAX 03-5695-8005

申込方法

ファックス又は郵便にて参加申込書をお送り下さい。上記ホームページの申込欄からもお申しいただけます。折り返し、受講証と請求書を郵送致します。参加費は下記の普通預金口座に開催日前日までにお振込み下さい。(但し経理の都合等で間に合わない場合は、ご連絡いただければお待ちいたします。)参加費の払戻しは致しませんので申し込まれた方がご都合の悪い時は代理の方がご出席下さい。又当日ご参加になれなかった場合、当社および金融財務研究会主催の他のセミナーに無料でご出席いただけます。(但し新しいセミナーの参加費との差額が2,000円以上の時は差額をお支払いいただきます。また、振替は1年以内にお問い合わせいたします。)ご記入いただきました個人情報、当社および関係会社の受講者名簿の整備や今後開催されるセミナーのご案内等に使用します。

振込口座

普通預金 口座名 (株)経営調査研究会

三菱東京UFJ銀行 八重洲通支店 0602180 三井住友銀行 東京中央支店 3207281  
みずほ銀行 京橋支店 1813877 三菱UFJ信託銀行 日本橋支店 1979947

----- 切らずにこのままお送り下さい -----

FAX 03-5695-8005

### ◆参加申込書◆

英文契約書で負けない実務  
3 / 5

平成30年 月 日

ご連絡・講師へのご質問等ご記入下さい	会社名	TEL FAX		
	所在地	E-Mail 〒		
	参加者ご氏名	部課名		
	〃	〃		
	〃	〃		
	〃	〃		
	書類送付先 (同上の場合記入不要)	ご担当者 TEL	部課名 FAX	

\*セミナーコード 0417 (Law-300417)

お申込の翌日には「受講証・請求書」を発送しておりますが、お手元に届かない場合は、弊社までご連絡下さい。